

1 主題名 「自律的な生き方」 【A－(1) 自主，自律，自由と責任】

2 教材名 「町内会デビュー」 (日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値(内容項目)について

本主題は、「中学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編」の内容「A 主として自分自身に関すること(1) 自主，自律，自由と責任」の「自律の精神を重んじ，自主的に考え，判断し，誠実に実行してその結果に責任をもつこと」をねらいとしている。

後期課程の段階では，周囲を気にして他人の言動に左右されてしまうことも少なくない。学年が上がるにつれて，自我に目覚め，自主的に考え，行動することができるようになる。自由を求める傾向が強くなり，社会通念としての規範やこれまでの自分の価値観を捉え直そうとする時期でもある。しかし，一方では，自由の意味を履き違えて，社会の規範を顧みない生活を送ったり，また，自分自身の行為が自分や他者にどのような結果をもたらすのかということ深く考えないまま，無責任な言動をとったりすることもある。自他との関わりの中で，自己の気高さに気付かせ，何が正しく，何が誤りであるかを自ら判断して望ましい行動をとれるようにすることが大切である。

本時では，展開段階に自らの立場を選択する場面を設定し，自主的に考え，判断する態度を整えて授業を展開していく。また，自分の行為の動機の純粋さととどまらず，その行為が及ぼす結果についても深く考えさせていきたい。

(2) 生徒の実態(*人)

実態調査 (実施日 令和*年*月*日 計*人)

実態調査として，内容項目に関連するアンケートを実施した。アンケートの結果からは，「学校の規則を守っている」の項目では，「そう思う」または「大体そう思う」と回答した生徒が*人，「困っている人には積極的に声をかけている」の項目では，同様の回答をした生徒は*人であった。加えて，「自分で決めたことを最後まで貫くことはできますか。また，これまでにそのような経験はありますか。」という項目では以下のような回答が見られた。

項目	回答
○自分で決めたことを最後まで貫くことはできますか	できる*人 できない*人
○これまでの経験についての具体的な記述	
・ 習い事を小学校低学年からずっと続けていること	・ 学習習慣がついてきていること
・ 自分で決めたルールは守っていること	・ 休校期間は毎日5時間勉強したこと
・ 期限を守り提出物をあげることに	・ 3年間部活動を続けたこと

これらのことから，本学級の生徒は，正しいと思うことに対して誠実に向き合い，実行できる生徒が多いことがわかる。また，具体的な記述からは，自分で決めたことを最後まで貫くことができる辛抱強い生徒がいることもわかる。このような生徒の実態を生かし，本時では，社会の中で様々な問題場面に出会った際に，何が正しく，何が誤りであるかを自ら判断して望ましい行動をとれるように，自分の決めたことを実行していくことの意義について考える授業を展開していく。

(3) 教材について

本教材は，母に頼まれ，仕方なく町内会の草刈り作業に参加した主人公が，町内会の人たちとのふれあいを通して，自らの役割を自覚し，自主的に行動することの大切さについて描かれている教材である。

本教材を通して，本時のねらいである「自律の精神を重んじ，自主的に考え，判断し，誠実に実行してその結果に責任をもつこと」を達成するためには，それぞれの立場に立った議論が必要であると考えられる。そのため，導入段階では，主題に直接関わる発問により，主題に対して生徒の問題意識を高める。次に，展開前段では，生徒の考えの根拠を問う発問により，登場人物の状況に共感できるようにする。また，展開後段では，多面的・多角的に考える発問により，それぞれの立場から議論する場面を設定する。これらの学習活動を通して，自分の行為の動機の純粋さととどまらず，その行為が及ぼす結果についても深く考えられるように授業を展開していく。

4 他教科との関連 自主，自律，自由と責任

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科 領域	学級活動 <u>自主，自律，自由と責任</u> 「後期学級組織を決めよう」		社会科 <u>自主，自律，自由と責任</u> 「よりよい社会を目指して」				
道徳	<u>「町内会デビュー」</u> <u>自主，自律，自由と責任</u>			<u>「私も高校生」</u> <u>自主，自律，自由と責任</u>			

5 指導の工夫

(1) 主題に対して問題意識を高める工夫

- ・ICT機器を活用して、前授業での道徳的価値への捉えや本時の内容項目に関するアンケート結果を提示することにより、主題に対する生徒の関心を高める。

(2) 道徳的価値の理解を図る工夫

- ・ペアやグループで活動することにより、互いの考えを伝え合い、自分の考えを深められるようにする。

6 本時の活動

(1) ねらい

自主的に考え、自らを律し、自分の決めたことを実行していこうとする判断力を養う。

(2) 展開

	主な活動 ○発問 ◎主発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点 (評) 評価
導 入	<p>1 道徳的価値への関心を高める</p> <p>2 日常生活を振り返る ○何かを決める時に頼りにする人は誰ですか。 ○誰かを頼り過ぎるとどんなことがおきますか。 主題に関わる発問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族 ・友達 ・学校の先生 ・自分 ・自律できない。 ・思考できない。 ・就職や進学ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、前授業の道徳的価値への考察や深まり、教師の見取りを示す。 ・日常生活を振り返ることで教材への関心を高める。また、主人公の置かれた状況を理解する手立てとする。 ・主題に関わる発問へ発問をつなげることによって、本時の授業のねらいを明確にしていく。
展 開	<p>3 教材「町内会デビュー」の概要を確認する ○「明」は、なぜ、黙って台所を出たのでしょうか。 ◎「明」は、なぜ、自分から草や枝を集めて運び始めたのでしょうか。 主題に関わる発問</p> <p>4 価値を理解する ○「明」と同じように町内会の草取りに参加しますか。 考えの根拠を問う発問</p> <p>○お互いの考えをどう思いますか。 多面的・多角的に考える発問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・俺は、まだ中学生だよ。 ・知らない人と過ごすのは嫌だな。 ・お年寄りにはできないから。 ・自分だったら力仕事ができるから。 <参加する> ・たまにはそういう体験もいいかと思う。 ・家族が困っているから手伝いたい。 <参加しない> ・別に一回くらい参加しなくてもいい。 ・誰か他の人に頼んでほしい。 ・参加することで自分も成長できるよ。 ・自分の時間を割いてまで参加することはできないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、教材の概要を確認する。 ・「明」が自主的な行動に移すまでを感情曲線に表し、道徳的価値の高まりについて視覚的な理解を促す。 ・書く時間を十分に確保することで自信をもって発表できるようにする。 ・個人で考えて意思表示をしてもらう。 (評) 中心発問において、自分の意思で行動することの大切さを捉えた発言や記述があったか。 ・グループそれぞれの立場の考えを記入したホワイトボードを提示し、全体で共有を図る。 ・考える時間を十分に確保することで中心発問について深く考えることができるようにする。
終 末	<p>5 自己を見つめる ○なぜ、自ら考え、行動することはすばらしいのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頼らないことで自分自身が成長できる。 ・周囲からも成長を感じてもらえる。 ・新しい人間関係を築くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流し、相互評価の場を設ける。 ・落ち着いた雰囲気の中で自己を見つめることができるように、インストゥルメンタルの曲を流す。

(3) 評価

○ 授業者の視点

- ・導入段階の工夫により、本時の主題について生徒の関心を高めることができたか。
- ・学習活動ごとに発問工夫したことにより、生徒の多面的・多角的な考えを導き出すことができたか。